

事業実績書

団体名	鑄銭司自治会 (鑄銭司まちづくり協議会)
-----	-------------------------

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

「みんなでつくろう 明るい鑄銭司」の地域づくり計画の目標に沿い、共助精神溢れた誇れる地域づくりを推進します。

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	地域の活性化を高め、元気な「鑄銭司」を実現すべく幅広い視野での取り組み		
	事業名	地域連携・交流事業	決算額	472, 833円
②	視点	コミュニティの果たす役割を再認識した互助精神の高い地域づくり		
	事業名	教育・福祉関係事業	決算額	199, 060円
③	視点	防犯及び安全に対する啓蒙を図り、快適な居住環境づくりの構築		
	事業名	防犯対策推進事業	決算額	363,069円

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
①地域内の活性化を目的とした地域行事への支援、単位自治会長情報交換会や新年互例会を開催し、情報の共有化、また、地区内の企業と住民が交流を深める活動をおこなった。来年度以降も行事への支援及び実施を積極的に取り組んでいく。	○
②回覧声掛け運動を広報等で推進。高齢者等への見守り体制づくりにつながると期待できる。人材バンクや子育てサポートシステムの構築を検討したが取り組み内容や解決策は模索段階。地域福祉分野の全般で次年度以降の課題として残した。	△
③防犯意識の向上を目標に地域づくりの重点事業として防犯対策を取り組んで3年目。今年度は防犯啓発に重点を置き、小学生の登下校時や夜間の見守りパトロール活動の支援や防犯啓発看板の設置をおこなった。次年度以降も安心安全に暮らせる地域を目指して、活動を継続していく。	○

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

第2次地域づくり5カ年計画の初年度であり、第1次計画からの継続事業については順調に実施することができた。新規事業においては、環境づくりとして、「花いっぱい、明るい鑄銭司」をキャッチフレーズに環境美化、特に地域の花を守り、育てる活動に積極的に取り組んだ。しかし地域福祉分野では高齢者に対する支援対策、子育て支援については検討を重ねてきたが実施にはいたらず、翌年度以降の課題として積み残した。今後も地域づくり計画に沿った活動を遂行していく。

5 事業内容

(1)協議会運営

事業費	4,003,929円
事務局の運営体制	(事務員等の雇用人数) 事務局長:1名 事務員2名 (運営費の主な内容) 事務局人件費、事務費 (成果・評価) 4月より約1年間不在であった事務局長が就任し、事務局体制が強化された。 (今後に向けて) 事務局で対応しなければならない業務量が年々増加しており、一層の事務の簡素化、効率化に取り組む必要がある。

(2) 地域振興

事業名	地域情報発信事業
事業費	276,540円
事業概要	(実施内容)①広報誌発行 ②ホームページ制作の検討 (実施時期)通年 (参加人数)①850世帯、50社 ②— (成果)①自治会通信11回発行・自治会報(総会報告書)1回発行 ②インターネット広報講座出席し、CANPANブログを試験的に開設 (評価)①広報誌を発行することで、地域づくりに関する活動について地区民に周知が図れた。 (今後に向けて)わかりやすい広報誌作成のため研修等にも積極的に参加する。また、ホームページの作成を部会の中で検討する。

事業名	地域連携・交流事業
事業費	472,833円
事業概要	(実施内容)①地域づくり功労者表彰式 ②コミュニティタクシー等の検討 ③単位自治会長情報交換会 (実施時期)①11月 ②通年 ③12月 (参加人数)①3人 ②— ③25人 (成果)①地区最大のイベントである、ふるさとまつりの開催を支援し、まつりの中で地域づくり貢献された3名の方を表彰した。 ②高齢者の移動手段として、コミュニティタクシー等について調査をした。 ③単位自治会の課題についてのアンケート調査を実施し、その結果をもとに単位自治会長情報交換会を開催した。 (評価)①まつりで功労者の方々を広く紹介することができた。また、自治会が5つ事業を実施し、まつりの活性化が図れた。 ②グループタクシーの利用者が多いことから、新しい交通政策への切り替えは難しいと思われる。 ④単位自治会相互の情報共有、協力が図れることで、地域の課題解決に向けた取り組みに期待できる。 (今後に向けて)①地域づくりに貢献された方の表彰を続けていく。 ②高齢者の移動手段を確保するため検討を続ける。 ③単位自治会の課題解決が図れるよう、情報交換の場を設定する。

(3) 地域福祉

事業名	教育・福祉関係事業
事業費	199,060円
事業概要	(実施内容)①人材バンク創設に向けて小学生にニーズ調査を実施 ②子育ての集い講演会開催 (実施時期)①9月 ②12月 (参加人数)①82人 ②42人 (成果)①小学生がどのようなことを学びたいかを把握することができた。 ②子育てに関わる幅広い年齢層の参加者があり、就学前の子育てのポイントを事例を踏まえて学んだ。 (評価)①小学生の学びたい気持ちが強いことを実感した。 ②自分の子育てを見直すことが出来たと好評であった。 (今後に向けて)①子どものニーズに対応する人材バンクの組織づくりを検討します。 ②子育てに関わる関係団体の連携を強め、子どもの健全な育成に関する学習および活動を推進していきます。

事業名	健康づくり対策事業
事業費	7,526円
事業概要	<p>(実施内容)①元気あっぷチャレンジ及び健康づくりウォーキングの開催 ②子ども会ラジオ体操の協力</p> <p>(実施時期)①通年(ウォーキングイベントは3月) ②8月</p> <p>(参加人数)①31人 ②170人</p> <p>(成果)①健康増進課による活動量に着目した健康づくりに取り組みとして「元気あっぷチャレンジ」が開催され、その活動を支援をした。また、健康づくりウォーキングとして地域内の歴史を学びながらの歩くイベントを開催した。 ②子ども会主催の「ふれあいラジオ体操」開催にあたり、各種団体に周知をするなど支援をおこなった。</p> <p>(評価)①元気あっぷチャレンジやウォーキングイベントを開催してことで、健康づくりだけでなく、地区民同志の交流につながった。 ②地域全体で子どもを支える意識が高まった。</p> <p>(今後に向けて)①意識して歩くことを支援し、ウォーキングイベントを企画していきます。 ②地域住民が集ってラジオ体操を行う重要性をより多くの住民に発信していきます。</p>

(4)安心・安全

事業名	防犯対策推進事業
事業費	363,069円
事業概要	<p>(実施内容)①LED防犯灯の推進 ②防犯看板の設置</p> <p>(実施時期)①2月・3月 ②3月</p> <p>(成果)①防犯灯を新規に2灯設置した。 ②幼稚園付近など防犯看板を2箇所を設置した。</p> <p>(評価)①過去2年に40灯の新設、23灯のLEDへの切り替えがあったことから、今年度の設置申請数は大幅に減少した。 ②看板には郷土出身の大村益次郎をデザインしたことで、防犯意識が高まった。</p> <p>(今後に向けて)①引き続き防犯灯及び防犯看板を設置し、地域をあげて防犯意識が向上するよう努めていく。</p>

事業名	防災活動推進事業
事業費	9,860円
事業概要	<p>(実施内容)防災講演会・地区防災訓練の実施</p> <p>(実施時期)12月、3月</p> <p>(参加人数)①25人 ②206人</p> <p>(成果)要援護者の避難訓練や炊き出し訓練、防災講演会。</p> <p>(評価)実際に避難を経験することで、防災意識が高まった。</p> <p>(今後に向けて)5ヵ年ですべての地区を対象に実施していく。実際の災害に対応できるように訓練を計画していく。</p>

事業名	交通安全推進事業
事業費	89,703円
事業概要	<p>(実施内容)秋の全国交通安全運動にあわせて、山口南警察署、山口農業高等学校と連携して、長沢ガーデン駐車場において手作りの交通安全マスコットをドライバーに配布。また、地域内運送会社6社にもマスコットを配付。</p> <p>(実施時期)9月</p> <p>(参加人数)200人</p> <p>(成果)個人および地域のサークルの協力により約340個のマスコットを配布。交通事故防止の啓発を図りました。</p> <p>(評価)地域内の運送会社に配布し、交通安全とあわせて地域活動の啓発も図ることができた。</p> <p>(今後に向けて)交通事故防止のため、今後も継続し、地域全体での交通安全意識の向上に努めていきます。</p>

(5)環境づくり

事業名	土木工事(法定外公共物)
事業費	3,707,000円
事業概要	(実施内容)法定外公共物の整備 (実施時期)通年 (成果)生活道路の舗装4件、農業用水路の改修5件 (評価)生活道路の改良及び老朽化した水路の改修が行われた。 (今後に向けて)地域内の要望を把握し、随時対応していきます。

事業名	環境整備事業
事業費	813,704円
事業概要	(実施内容)①一戸一鉢運動 ②企業合同地域一斉清掃 ③長沢パーク構想 ④陶ヶ岳やぶ椿整備 (実施時期)①7月 ②11月 ③通年 ④2月 (参加人数)①880人 ②800人 ③150人 ④70人 (成果)①8000株の苗とプランター840個と土840袋を配布。 ②企業9社と14の単位自治会が同日に合同一斉清掃。 ③芝桜の補植、大内桜の看板設置、松島の整備を実施した。 ④陶ヶ岳中腹に自生する藪椿を保護するため、周辺整備を実施した。 (評価)①地域で同じ花を育てることにより、近隣との交流が深まった。 ②企業の参加協力により地域の一体感が生まれた。 ③環境美化活動を通して三世代交流が図れた。 ④藪椿の美しい群生を保ち、登山客の目を楽しませる陶ヶ岳となりました。 (今後に向けて) 鑄銭司地域を訪れる人々が「きれいで花を愛する地域」として感じてもらえるよう、交流を図りながら、美化活動・花のある地域づくりを継続して推進します。

(6)地域個性創出

事業名	地域資源PR事業
事業費	219,733円
事業概要	(実施内容)地域カレンダーの制作と配付 (実施時期) 5月～10月(写真の公募) 12月～3月(写真の選考・レイアウトの構成) 3月(配布) (参加人数)880人 (成果)地域行事の予定を記載したカレンダーを840世帯、53事業所、14施設に配付。 (評価)地域行事の写真を公募し、新年度の行事予定を記載したカレンダーを全戸に配付し、地域行事や活動を周知した。 (今後に向けて)年間の地域の主な行事が確認できるカレンダーとなり、行事や地域活動に参加する人の拡大に期待できます。

事業名	伝統文化の継承
事業費	584,371円
事業概要	(実施内容)①風鎮祭「盆踊りの夕べ」の開催 ②笠踊り伝承保存会支援 (実施時期)①8月 ②6月～11月 (参加人数)①300人 ②200人 (成果)①地域団体の協力により多くの参加者があり、地域内の交流が図れた。 ②鑄銭司のみに伝わる「笠踊り」を単位自治会のお祭りや小学校運動会において披露し、伝承活動に取り組んだ。 (評価)①盆踊りを通じて世代間の交流が生まれ、若年層に対しては地域づくり活動を理解してもらいきっかけとなった。 ②練習会を開催してみたが参加者が少なく、踊り手を継承していくことの難しさを実感した。 (今後に向けて)笠踊りに接する機会を増やし、盆踊りというコミュニケーションの場を通じて、地域の貴重な盆踊りの伝承を図ります。

(6)特別事業

事業名	大村益次郎没後150年事業
事業費	60,360円
事業概要	(実施内容)①講演会開催②横断幕制作 (実施時期)①8月、1月 (参加人数)①48人、60人 (成果)郷土の偉人「大村益次郎」の功績を顕彰することができた。 (評価)平成30年には大村益次郎没後150年を迎えることについて地域内外に告知することができた。 (今後に向けて)引き続き、大村益次郎の功績やゆかりの地や活用した地域づくりに取り組んでいく。